

コミュニティ福祉学部創設 25 周年記念
コミュニティ福祉学会
第 16 回年次大会

“まなびあい”

「コミ福万博 一つながりを取り戻す」

2023.12.2. Sat.

10:00-19:00

場所 立教大学 新座キャンパス

プログラム

- | | |
|--------------------|-------------|
| ■ 総会・第9回研究実践奨励賞授賞式 | 13:00~13:30 |
| ■ 万博ブース | 10:00~17:00 |
| ■ 分科会 | 13:40~15:20 |
| ■ シンポジウム | 15:30~17:30 |
| ■ 懇親会 | 17:45~19:00 |

主催 コミュニティ福祉学会
コミュニティ福祉学部

Tel. 048-471-7308
Mail. cchs@rikkyo.ac.jp

大会について

2008年より毎年行われている「まなびあい」が4年ぶりに対面で開催されます。

今年度は在学生7名に登壇していただき「コミ福万博—つながりを取り戻す」というテーマで、シンポジウムを行います。司会やコメンテーターには卒業生が協力していただき、卒業生・在学生・教員等が一堂に会し「まなびあう」貴重な機会となります。

「分科会」では、コミ福の学生や卒業生が今研究、調査していることや、社会での学びについて発表を行います。興味深いテーマの発表がたくさんありますので、是非、お気軽にご参加ください！

■プログラム

| 時間 | 内容 | 会場 | 万博ブース 会場 N333 |
|-----------------|---|---------------|--|
| 12:30～ | 受付 | N431 前 | |
| 13:00 ～13:30 | 総会 第9回研究実践奨励賞受賞式 (学会誌『まなびあい』第15号掲載作品から選出されたものです。) | N431 | 10:00 ～17:00 (※詳細は P.6・7 ペー ジ) |
| 13:40 ～15:20 | 分科会 (※詳細は P.3～P.5) 自由演題発表が各会場にて行われます。 | N231 ～N237 | |
| 15:30 ～17:30 | シンポジウム (※詳細は P. 8 ページ) 「コミ福万博—つながりを取り戻す」 シンポジスト 高木裕人氏 (コミュニティ福祉学部・コミュニティ政策学科 4年) 浦松晶氏 (コミュニティ福祉学部・コミュニティ政策学科 4年) 中村文香氏 (コミュニティ福祉学部・福祉学科 3年) 紺野陽奈氏 (コミュニティ福祉学部・コミュニティ政策学科 2年) 川田雅己氏 (コミュニティ福祉学部・コミュニティ政策学科 2年) 小林友香氏 (コミュニティ福祉学部・福祉学科 1年) コメンテーター 竹内 悟氏 (コミュニティ福祉学研究科 修了生) 露木 茜氏 (コミュニティ福祉学部 卒業生) 司会 和嶋 美莉奈氏 (コミュニティ福祉学部 卒業生) | N331 | |
| 17:45 ～19:00 | 懇親会 St.Paul's Cafe(こかげ) | | |

■分科会の詳細

(各発表 15 分、質疑応答 10 分程度) ※敬称略

| 会場 | 時間 | 発表者・所属(発表形式)・ | 発表タイトル |
|---|---------------------|---|---|
| N231 司会・コメンテーター タイムキーパー 杉浦先生 露木茜さん | 13:40 ～ 14:05 | ＜団体＞スポーツウエルネス学科・沼澤ゼミ ① 吉澤 祐人 ②米徳 ノア ③堀田 習 ④木下 瑠翔 ⑤川勝 浩輝 ⑥奥村 謙 ⑦尾張 令玖 | 「幼少期のスポーツ経験がその後に及ぼす影響について」 |
| | 14:10 ～ 14:35 | ＜団体＞スポーツウエルネス学科・沼澤ゼミ ①足立 脩斗 ②藤田 慈瑛 ③清宮 英斗 ④三宅 喜大 ⑤落合 雄大 ⑥西田 泰希 ⑦相葉 颯斗 | 「指導者の経験・成績が生徒にどのような影響を与えるのか」 |
| | 14:55 ～ 15:20 | | |
| N232 司会・コメンテーター タイムキーパー 後藤先生 発表者が担う | 13:40 ～ 14:05 | ＜個人＞コミュニティ政策学科 山崎 陽菜 | 「コミュニティにおけるイベントの存在意義」 |
| | 14:10 ～ 14:35 | ＜団体＞NPO(任意団体)チアアップ彩たま ①武田 彩 ②浦松 晶 ③小勝 周 | 「居場所・学習支援を目的とした大学生主体のNPOに関する実践報告—NPO チアアップ彩たまを事例として—」 |
| | 14:55 ～ 15:20 | ＜団体＞福祉学科・西田ゼミ ①木下 美裕 ②大田 璃子 ③大波 さくら ④小田嶋 奈緒 ⑤佐野 実紀 ⑥猿田 衣織 ⑦三徳 美月 ⑧穴戸 里帆 ⑨村上 桃萌 ⑩若木 広海 | 「被災から 11 年を経た地域で取り組む地域福祉～福島県楢葉町を例として～」 |

| 会場 | 時間 | 発表者・所属〈発表形式〉 | 発表タイトル |
|---|---------------------|---|------------------------------------|
| N233 司会・コメンテーター タイムキーパー 発表者が担う 濱田先生 | 13:40 ～ 14:05 | <個人>コミュニティ政策学科・鈴木弥生ゼミ 平良 吉志登 | 「沖縄の若者の貧困 ～本当に必要な支援策とは～」 |
| | 14:10 ～ 14:35 | <個人>コミュニティ政策学科 別宗 真帆 | 「地域共生社会における若年層への支援について」 |
| | 14:55 ～ 15:20 | <個人>コミュニティ政策学科 菊池 沙和 | 「地域労働市場の特性と課題について」 |
| N234 司会・コメンテーター タイムキーパー 竹内 悟さん 上林先生 | 13:40 ～ 14:05 | <個人>福祉学科 小林 友香 | 「戦争経験を語り継ぐことの意義とは-団体活動を通して-」 |
| | 14:10 ～ 14:35 | <個人>障害者支援施設 日の出太陽の家 馬場 雄輔 | 「障害福祉から見る地域共生社会について」 |
| | 14:55 ～ 15:20 | <個人>コミュニティ政策学科 伊藤 まり | 「見えない生きづらさと開かれた居場所-ゆるやかなテーマとしての馬-」 |
| N235 司会・コメンテーター タイムキーパー 発表者が担う 篠崎先生 | 13:40 ～ 14:05 | <団体>コミュニティ政策学科 ①太川 莉子 ②小泉 那奈 | 「日本における生涯学習支援の現状」 |
| | 14:10 ～ 14:35 | <個人>コミュニティ政策学科 高橋 愛花 | 「とり残さない学校制度とは」 |
| | 14:55 ～ 15:20 | <団体>コミュニティ政策学科・原田峻ゼミ ①森 楓洲 ②黒澤 晴太郎 ③角森 美月 ④田村 伊織 ⑤華輪 有晃 | 「子ども食堂の社会貢献～新座市内の事例を通して～」 |

| 会場 | 時間 | 発表者・所属<発表形式> | 発表タイトル |
|--|---------------------|-------------------------------|---|
| N236 司会・コメンテーター タイムキーパー 高木 裕人 権先生 (発表の時は他の発表者) | 13:40 ～ 14:05 | <個人>コミュニティ政策学科 高木 裕人 | 「贈与と自己実現—自分らしくつ ながり、共に生きる」 |
| | 14:10 ～ 14:35 | <個人>コミュニティ政策学科 漆原 裕香 | 「子供の自己肯定感の実態と取り 組みについて」 |
| | 14:55 ～ 15:20 | <個人>コミュニティ政策学科 家地 みのり | 「モラルハラスメント加害者が抱え る心理的背景の新たな視点」 |
| N237 司会・コメンテーター タイムキーパー 米山 大雅さん 阪口先生 | 13:40 ～ 14:05 | <個人>コミュニティ政策学科 鶴田 渉 | 「石神井公園駅周辺再開発を事 例とした都市再開発による地域の アイデンティティへの影響につい ての検討」 |
| | 14:10 ～ 14:35 | <個人>コミュニティ政策学科 明石 咲 | 「横浜・野毛における空間の 消費について」 |
| | 14:55 ～ 15:20 | <個人>コミュニティ政策学科・鈴木弥生ゼミ 石黒 遥 | 「ファストファッションの労働問題に ついて」 |

■万博ブースの詳細 (N333 教室 10:00~17:00)

シンポジウム登壇者が所属している各団体の紹介ブースを設けております。

気になる団体の方からお話を聞いたり、参加者同士が交流できる場所になりますので、是非お立ち寄りください。

活動紹介

<高木 裕人氏>

一般社団法人 COAs 代表理事

「すべての人に人生の拠点を」という理念のもと、ありのままが受容され、自分らしく居られるコミュニティ形成に取り組んでいる。具体的には、オンラインで学生と社会人が哲学や教育をまなびあうコミュニティや杉並区で中高生向けに無料の自習室を運営している。

<浦松 晶氏>

ボランティア団体 チアアップ彩たま 代表

埼玉県川越市で学習支援・居場所支援を行う団体である。市内の公共施設や企業の一室を借りて、地域の子どものために無料で勉強を教える活動をしている。

<中村 文香氏>

NPO 法人 good! 所属

大学生を中心とした若者のきっかけづくりを応援するために、合宿型ボランティア「ワークキャンプ」を実施する団体「NPO 法人 good!」に所属して活動している。「NPO 法人 good!」は、海外では、スリランカやモンゴルでのインフラ整備、国内では、長野や広島等の地域で農業ボランティアをしている。池袋に事務所を構え、参加者たちが集まるフリースペースの運営もしている。

<山口 恵里奈氏>

学生団体 Mogunity (モグニティ)

食×政策×キャリアの観点から企業や自治体が運営する特色のある食堂の背景やこだわりを取材し、Web マガジンという形で情報発信していく団体である。Web マガジンが、大学生がキャリアを考える上での助けになることを目指している。

<紺野 陽奈氏>

学生コミュニティ Spread From Fukushima (通称：SFF) 代表

福島の学生のやりたいに挑戦できる環境を作ることミッショに、リアルとオンライン上で構築する福島県内最大級の学生コミュニティを運営している。これまで20個以上の学生主体によるプロジェクト立ち上げている。

<川田 雅己氏>

学生団体 FRUTIA

『FRUTIA』は、「Fruition」（成果・実現）と「Utopia」（理想郷）という2つの単語を組み合わせた造語であり、個人の理想的な未来（自分らしい人生）を挑戦や成果を収める過程を通じて実現させることを目標に活動している。今後は、埼玉県小川町を拠点に、学生や大人を巻き込んだキャリア支援WSやまちづくりをしていく予定である。

<小林 友香氏>

学生団体 peace & voice 代表

「戦争経験者の声と私たち高校生、大学生の声を繋ぎ、未来に戦争の経験を語り継いでいく」ことを目的として活動している。スローガン「直接、聞く・話す・語り継ぐ」を大切に、国内外の戦争経験者やそのご家族からお話を伺ったり、メンバー内で共有、発信している。

■シンポジウムの詳細 (N331 教室 15:30~17:30)

テーマ 「コミ福万博一つなかりを取り戻す」

内 容： 学部の内外で NPO を立ち上げるなど精力的に活動する学生、これから一步を踏み出したい学生、卒業後も NPO 活動などに取り組んだり、現役生を応援したい卒業生の方々、日頃から学生を見守っている先生方の交流を促し新たな繋がりから、「まなびあい」を生み出すことが目的です。

具体的には、壇上でパネル・セッションを行い、団体を立ち上げたり、積極的に活動している学生達（6 団体のリーダー達）に登壇してもらい、

①実践活動に生きるコミ福の学びとは何か ②学生が活躍するためにコミ福へ求めること

などを話していただきます。司会およびコメンテーターとして、コミュニティ福祉学部の卒業生にご登壇いただく予定です。また、通常の学会シンポジウムのような一方的にお話を聴くだけでなく、隣の教室に各登壇学生が活動する団体ごとの「万博ブース」を設け、関心を持った参加者どうしが交流できる場をご用意しています。

<シンポジスト> *シンポジストの詳細については P6・7 ページをご覧ください

高木 裕人氏 / コミュニティ政策学科・4 年

浦松 晶氏 / コミュニティ政策学科・4 年

中村 文香氏 / 福祉学科・3 年

紺野 陽奈氏 / コミュニティ政策学科・2 年

川田 雅己氏 / コミュニティ政策学科・2 年

小林 友香氏 / 福祉学科・1 年

<コメンテーター>

竹内 悟氏 / 元高校教員・学習支援員 (コミュニティ福祉学研究科 修了生)

露木 茜氏 / 医療機関勤務 (コミュニティ福祉学部 卒業生)

<司会>

和嶋 美莉奈氏 / 民間企業 営業職 (コミュニティ福祉学部 卒業生)

.....
ご不明な点につきましては、事務局にお問い合わせください

立教大学 コミュニティ福祉研究所内

コミュニティ福祉学会運営委員会事務局

Tel : 048-471-7308 Mail : cchs@rikkyo.ac.jp

.....